

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		名古屋経済大学		設置者名	学校法人 市邨学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成27年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
経済学部	現代経済学科	150人	高一種免(情報)	昭和56年度	59人	1人	1人	0人
			高一種免(商業)	昭和56年度			1人	
経営学部	経営学科	150人	高一種免(情報)	平成14年度	99人	3人	2人	0人
			高一種免(商業)	平成14年度			2人	
法学部	ビジネス法学科	150人	中一種免(社会)	平成15年度	56人	4人	4人	0人
			高一種免(公民)	平成15年度			4人	
人間生活 科学部	教育保育学科	100人	幼一種免	平成17年度	40人	36人	35人	10人
			小一種免	平成20年度			9人	
	管理栄養学科	80人	栄教一種免	平成17年度	50人	9人	9人	1人
入学定員合計		630人	合計		304人	53人	67人	11人

大学名		名古屋経済大学(大学院)		設置者名	学校法人 市邨学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成27年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
法学研究科	法学専攻	50人	中専免(社会)	平成13年度	26人	0人	0人	0人
			高専免(公民)	平成13年度			0人	
会計学研究科	会計学専攻	50人	高専免(商業)	平成15年度	23人	0人	0人	0人
人間生活科学 研究科	幼児保育学専攻	10名	幼専免	平成19年度	2人	0人	0人	0人
			小専免	平成24年度			0人	
	栄養管理学専攻	10名	栄専免	平成25年度	0人	0人	0人	0人
入学定員合計		120名	合計		51人	0人	0人	0人

備考

・「学部・学科等の名称等」欄は、平成28年4月1日現在の名称・定員である。
 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成28年11月22日（火）

実地視察大学：名古屋経済大学

実地視察委員：和泉研二委員，岩立京子委員，高旗浩志委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について，一部「2.」で指摘するように，教育職員免許法施行規則及び教職課程認定基準等の観点から是正すべき点が確認されたため，その点については，速やかに是正すること。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 教員養成に対する理念・構想はある程度明示されているが，それを具現化するための教職課程に対する全学的な組織，教育課程及び教員組織を一層充実させるように努めていただきたい。
- 教職課程に関する委員会組織を十分に活用し，教職課程全般の体系性・系統性の検討や，カリキュラムマネジメント等の組織的な実施体制を構築していただきたい。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目），履修方法及びシラバスの状況

- 「教職に関する科目」について，教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「含めることが必要な事項」が含まれているか否か，シラバスからは判断できない授業科目や，科目の趣旨に照らして適切でないと見受けられる授業科目名称があるため，法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに，科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように，内容を再度検討すること。なお，シラバスの記載内容及び記載方針を定め，法令に定める「含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認できるようにすること。
- 経済学部現代経済学科，経営学部経営学科における商業及び情報について，それぞれの免許教科の教職課程を設置するにふさわしいカリキュラムを，どのように系統立てて組み上げるかについて検討し，明確にしていきたい。特に情報については，趣旨に照らして含むことが必要とされている内容が含まれていない科目があるため，科目内容について確認の上是正すること。
- 人間生活科学部教育保育学科については，幼稚園と小学校それぞれの校種に対応した教職課程の整備が必要と思われる。特に，幼稚園教育実習の時期について，本来あるべき教員養成の在り方に適うよう検討の上，適正化すること。また，当該学科の「教職に関する科目」について，専任教員を4名配置する必要があるが，配置が不足している状況が確認されたので，速やかに是正すること。
- 教科専門の教員が，教職に関する科目を担当している状況が見受けられた。一部の教員に過重な負担とならないように留意しつつ，教職課程を構成するそれぞれの

科目を担当するにふさわしい研究業績をもつ教員を、適正に配置するよう努めていただきたい。

3. 教育実習の取組状況

- 遠方で実習を行う学生についても、巡回指導を行い、学生に必要な支援を提供できる環境を確保していただきたい。
- 教育実習は、大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、遠隔地の学校や学生の母校における実習ではなく、可能な限り大学が所在する近隣の学校において実習校を確保することが望ましい。今後、地元教育委員会や学校との連携を進め、近隣の学校における実習先の確保や附属幼稚園の活用を検討いただきたい。やむを得ず遠隔地の学校や学生の母校における実習を行う場合においても、実習先の学校と連携し、大学が教育実習に関わる体制を構築するとともに、学生への適切な指導、公正な評価となるよう努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 履修カルテへの記載内容の個人差が大きく、科目で学んだことを省察し自分のものとして修得できていない学生がいるように見受けられた。履修カルテは、入学の段階からそれぞれの学生の学習内容、理解度を把握するとともに、学生個別に補完的指導を行うためのものであるため、科目での学びが最大限効果を発揮できるよう、履修カルテを活用していただきたい。
- 教職を目指す学生全てに対して、一定の水準以上の教職指導が実施されるように、指導教員による個別指導のみに頼るのではなく、体系的かつ組織的に指導していくための体制を検討いただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 観察実習等で附属学校・園を活用するように検討いただきたい。
- 教職に関心のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、今後、学生が教育実習以外にも学校現場等での体験機会を得ることができるよう、地元教育委員会・学校との連携・協働に一層努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 模擬授業教室を設けていることは評価できるが、その具体的な運用方法について工夫し、活用いただきたい。
- 教職支援室について、設置から日が浅いことから、十分整備されておらず機能し

ていないように見受けられたので、必要に応じて、教員が運営に関与し機能するよう努めていただきたい。

- 図書については、十分に整備されているとは言い難いため、特に幼児教育関係の行政資料や雑誌及び心理系の資料・図書等について、配架状況を再度確認し、充実に努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 特になし。